2026年11月９日

各　位

会　社　名　　東洋紡株式会社
代表者名　　代表取締役社長　竹内　郁夫
（コード番号 3101　東証プライム）
問合せ先　　ｺｰﾎﾟﾚｰﾄｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ部長　佐藤　万紀
（TEL 06-6348-3044）

特別損失（減損損失）の計上および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2027年3月期第2四半期連結会計期間において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上しましたのでお知らせいたします。

また、本件処理および最近の動向を踏まえ、2026年11月９日開催の取締役会において、2026年8月６日に公表しました2027年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1．特別損失（減損損失）の計上について

当社の医薬品製造受託事業は、競合製品の台頭による受託数量の減少を踏まえ、今後の事業計画を見直した結果、当該事業で保有する事業用資産の回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額65億円を減損損失として特別損失に計上しました。

2．連結業績予想の修正について

（1）2027年3月期通期　連結業績予想数値の修正（2026年4月１日～2027年3月31日）

	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	435,000	23,000	18,500	7,000	79　33
今回修正予想（B）	440,000	27,000	22,100	4,000	45　32
増減額（B－A）	5,000	4,000	3,600	△ 3,000	
増減率（%）	1.1	17.4	19.5	△ 42.9	
（ご参考）前期実績（2026年3月期）	421,563	27,906	22,878	11,174	126　65

（2）修正の理由

セラミックコンデンサ用離型フィルムおよび液晶偏光子保護フィルム“コスモシャインSRF”が堅調に推移していることから、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込ですが、上記「1．特別損失（減損損失）の計上について」に記載の通り、特別損失65億円を計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上